



## 余土地区まちづくり通信Vol.97

平成31年3月1日発行

余土地区まちづくり協議会（〒松山市余戸東4丁目4-34）☎090-8979-4101

HPアドレス：<http://www.yodo-machikyou.net/> ✉：yodom4010@gmail.com

### 第1回余土検定ものしり博士試験開催！！

まちづくり協議会では、「余土の魅力づくり」事業の一環として、余土に関する100問に挑戦する「余土検定」試験を2月10日（日）に余土公民館大会議室で実施しました。



試験は、午前10時から始まり、27名の皆さんが初めての余土検定の試験を受験されました。問題は、歴史編が10問、神社・仏閣編が5問、史跡編が8問、偉人編は16問、石碑等文化遺産編が17問、盲天外編が26問、余土のあれこれ編が18問の合計100問が出題され、受験者の皆さんは真剣な表情で試験を受けていました。

試験結果は、2月18日付で受験された皆さんに通知しましたが、その結果は、下記のとおりとなりました。  
なお、第1回余土検定ものしり博士認定式は3月10日（日）に実施されます。

1級（90点以上）	3名	2級（80点以上）	10名	3級（70点以上）	5名
4級（60点以上）	3名	5級（50点以上）	3名		

### 「子ども見守り防犯サポーター募集」の御礼

平成30年10月にこの制度を設立し、皆様に防犯カメラの維持・管理費についてご協力をお願いしたところ、多くの支援金が集まりました。ご協力有り難うございました。

これを基金として、今後とも「子どもたちが安心・安全に暮らせる」まちづくりに取り組みますので、ご協力をお願いします。

余土地区まちづくり協議会 会長 今田 紘一

### 市長と話そう！タウンミーティング参加者募集

今回で3回目となる余土地区での「市長と話そう！タウンミーティング」が下記の日程で開催されることになり参加者を募集しています。

【日 時】 5月25日（土） 10時30分～12時00分

【会 場】 余土公民館 2階 大会議室（松山市余戸東四丁目4-34）

【テマ】 余土地区のまちづくりについて

【参加予定人数】 35人程度

【対 象】 余土地区に在住または通勤・通学している人

【申し込み】 3月29日（金）（消印有効）までに、直接または郵送、ファックス、eメールで  
参加申込書（タウンミーティング課<市役所本館9階>、余土公民館、市ホームページにあり）に住所、氏名、電話番号、年齢、性別、勤務先（学校名）、テーマについての意見などを書いて、〒790-8571タウンミーティング課  
eメール town-m@city.matsuyama.ehime.jpへ

【お問合せ】 松山市市民部タウンミーティング課

☎ 948-6333 FAX 934-2336



## 余土公民館だより

### 「人権に関する映画会」開催！！

人権に関する映画会は、今年度から公民館が取り組んだ事業で昨年10月に子どもを対象とした映画会に続いて成人対象の映画会を2月15日（金）午後1時から余土公民館学習室で開催しました。

今回の映画は、昨年9月に亡くなった樹木希林さんの最後の主演作となった「あん」を上映いたしました。映画会には、50人を超える方の参加があり、約2時間の映画を静かに見て頂きました。

映画は、樹木希林演じるハンセン病の老婆徳江が作った「粒あん」の「どら焼き屋」をめぐりドラマは展開していきます。そして、最後に徳江が言った「私たちは、この世を見るために、聞くために生まれてきた。だとすれば何かになれなくても私たちは生きる意味があるのよ。」のセリフが代表するように、生きる勇気をもらうことが映画でした。

来年度も、公民館では人権に関する映画会を開催いたしますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。



### 「第13回余土地区ドッヂビー大会」余戸中チーム優勝！！

第13回余土地区ドッヂビー大会が2月17日（日）に余土公民館体育室において開催されました。大会は、各地区から1チームの計6チームが参加、3チームづつの2グループに分かれて総当たりのリーグ戦による予選が行われました。

その結果、余戸東、余戸中、余戸西のグループは余戸中が全勝で1位、余戸東が1勝1敗で2位となりました。一方の市坪、保免、余戸南のグループは余戸南が全勝で1位、保免が1勝1敗で2位となりました。両グループの1位同士で決勝戦が行われ、余戸中が優勝、余戸南は準優勝となりました。また、両グループの2位同士の余戸東と保免で3位決定戦が行われた結果、余戸東が勝利し3位となりました。



### 「余土こどもなわとび大会」 開催！！

「余土こどもなわとび大会」が2月24日（日）に余土小学校グラウンドにおいて、暖かい冬の日差しのもと171名の児童と地区の役員の皆さんなど約250名が参加して開催されました。9時からの開会式で公民館長が「昔の余土地区の子どもたちはみんな余土小学校に通っていましたが、現在は、余土小、さくら小、椿小と3つの小学校に分かれているので、この大会で交流と親睦を図ることを目的に開催している。」という話があつたあと、余戸南のみつたこはく君と余戸東の中川ももかさんの選手宣誓が行われ大会は始まりました。

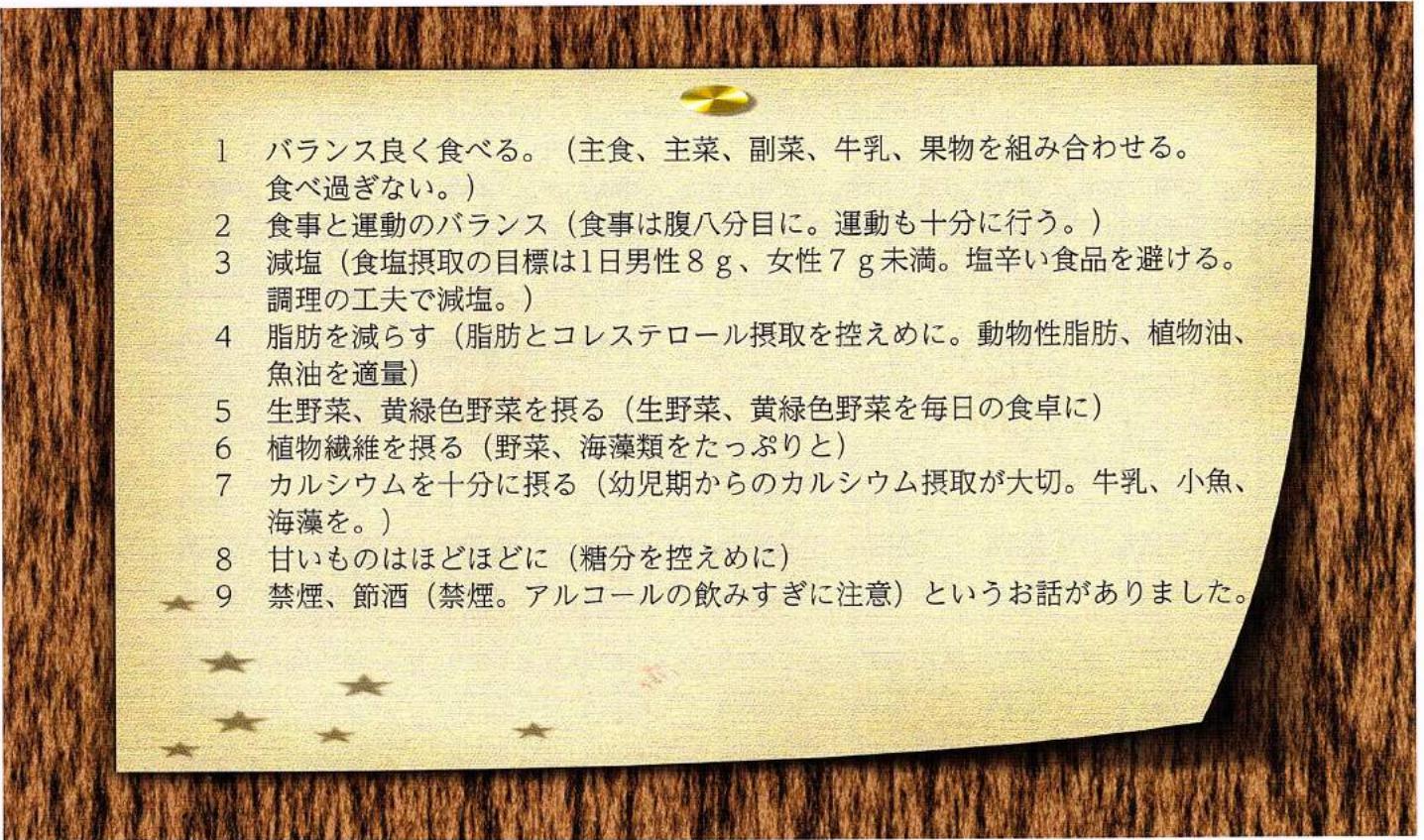
大会は、第1部の個人戦が行われ、小学1年生から6年生の各学年に分かれて跳び続けた時間を競い合い 最後まで跳び続けた25名の皆さんが優秀賞を受賞しました。引き続いて第2部の10人が1チームとなって3回で跳んだ回数を競う団体なわとびが行われました。その結果、2チームの参加のあった男子団体は計52回を跳んだ余戸南が、1チームの参加となった女子団体は計20回を跳んだ保免が、4チームの参加のあった混合は計49回を跳んだ余戸中チームが優勝しました。



## 第2回「まちの食育講座」開催！！

食生活改善推進協議会余土支部の協力を得て「第2回まちの食育講座」が2月20日（水）に余土公民館調理室において開催され、28名の皆さん参加されました。

今回は、食生活から健康増進！「生活リズムを整えよう」をテーマにした食育講座でした。  
その中で、食生活チェックとして

- 
- 1 バランス良く食べる。（主食、主菜、副菜、牛乳、果物を組み合わせる。  
食べ過ぎない。）
  - 2 食事と運動のバランス（食事は腹八分目に。運動も十分に行う。）
  - 3 減塩（食塩摂取の目標は1日男性8g、女性7g未満。塩辛い食品を避ける。  
調理の工夫で減塩。）
  - 4 脂肪を減らす（脂肪とコレステロール摂取を控えめに。動物性脂肪、植物油、  
魚油を適量）
  - 5 生野菜、黄緑色野菜を摂る（生野菜、黄緑色野菜を毎日の食卓に）
  - 6 植物繊維を摂る（野菜、海藻類をたっぷりと）
  - 7 カルシウムを十分に摂る（幼児期からのカルシウム摂取が大切。牛乳、小魚、  
海藻を。）
  - 8 甘いものはほどほどに（糖分を控えめに）
  - 9 禁煙、節酒（禁煙。アルコールの飲みすぎに注意）というお話をありました。

また、今回の献立の ①えだまめご飯 ②和風ミートローフ③トウミョウ（豆苗）の  
塩昆布和え ④カレースープ ⑤季節の果物（キウイフルーツ）を全員で調理をし、  
美味しく食事をして終了しました。

終わったあとのアンケートには

- 豆→トウフ→高野豆腐=認知症にいいと聞きました。そういう公民館講座をしてほしい。
- 梅干し、塩昆布、カレー粉など塩以外のものを上手に活かしたいと思う。
- 高齢クラブ員に勧め、会を立ち上げたい。
- 豆が入っているだけで、噛む回数が増えた気がします。栄養だけでなく、噛むことにも関心を持ってみたいと思う。などのご意見、感想が書かれていました。



### 余土の句碑巡り⑦

「寝待月 灯の色に似て 出でにけり」 五十崎古郷  
「寒椿 ついに一日の ふところ手」 石田 波郷

(五十崎郷)



余戸中分館の西にある五十崎さんの庭に、自然石に五十崎古郷と石田波郷の二人の句がそれぞれ四角な石に刻まれてはめ込まれている句碑がある。書は波郷。古郷は水原秋桜子の門人で、波郷の師である。

古郷の句の寝待月とは旧暦19日の夜の月で、月の出が遅いので寝て見るにこういう。その月の出の色が赤みを帯びていたので、「灯の色に似て」といった秋の句である。この句は、古郷が結核で闘病生活中に詠まれたもので、病人の繊細な感覚が溢れている。波郷の句は、「寒椿」で冬の句。倦怠感に満ちた句であるが、第二句集「風切」（27歳～31歳）の時代の句である。

(昭和44年建之)

## 各地区・団体からの情報コーナー

### 第31回松山市長杯ママさんレクリエーションバレーボール大会



#### 「サンデー」準優勝！！

「第31回松山市長杯ママさんレクリエーションバレーボール大会」が、2月17日（日）に松山市北条スポーツセンター体育館で開催されました。

この大会に、余土地区のバレーボール愛好者の皆さんで組織されている「サンデー」が出場し、Bコートで準優勝しました。



### 「第1回余土検定ものしり博士試験問題」から



2月10日（日）に実施されました「余土検定」の中から正解者が少なかった問題を紹介します。  
(□に囲った番号が正解です。)

- 江戸時代の末期の嘉永3年(1850年)の当時の市坪村、保免村、東余戸村、西余戸村を合わせた人口は?  
1 997人      2 1,080人      **3 1,447人**      4 2,108人      (正解者3名)
- 市坪の地名は、昔は新しく開拓した土地のことを「田の坪」といい、早くから開拓したところから「一の坪」「二の坪」と呼んでいたことが由来の一つと言われているが、このように呼ぶようになった制度は何?  
1 班田収授法      2 植地      3 新田開発      4 屯田兵      (正解者6名)
- 市坪地区の通学児童が余土小学校から椿小学校に分離したのは昭和51年4月からですが、市坪地区の余土中学校通学生徒が椿中学校に分離したのはいつ?  
1 昭和51年      2 昭和56年      **3 昭和61年**      4 平成3年      (正解者9名)
- 正岡子規の三島大明神社にある「行く秋や手を引きあひし松二木」と出合橋にある「若鮎の二手になりて上りけり」の二基の句碑は、愛媛県下の子規句碑第1号となった句碑ですが、この句碑の設置に尽力した人は誰?  
1 高浜虚子      2 柳原極堂      **3 森 河北**      4 森 圓月      (正解者10名)
- 盲天外著の「一粒米」の初版は明治41年6月13日発行で、公民館郷土資料室には「一粒米」の初版本と明治43年の4版本が所蔵されていますが、当時の販売価格はいくら?  
1 30銭      **2 45銭**      3 1円50銭      4 2円45銭      (正解者11名)
- 森恒太郎は、村是7綱目の「青年教育の実施」の中で、農事研究や風紀改善を目的とした余土村青年実習会を設立し、余戸、保免、市坪に支部と身体鍛錬や学習、社会奉仕、娯楽交流する建物を建設しましたが、その建物の名前は何?  
1 青年の家      2 若者塾      **3 青年学堂**      4 青年学習館      (正解者12名)
- 肥料等の農作業に必要な品物を共同で安く買い入れて出費を少なくしていこうと明治34年に初めて共同購入で買ったものは何?  
1 農機具      **2 種もみ**      3 肥料      4 日用品      (正解者12名)
- 余戸中・西地区の余土小学校への通学児童がさくら小学校に分離したのはいつ?  
1 昭和51年      2 昭和61年      **3 平成元年**      4 平成5年      (正解者12名)